

議会だより

かみやま

第 33 号

2017. 5. 15

3月定例会



「かま屋」オープニングセレモニー（3月1日）

町長からの所信表明	3 頁
平成29年度当初予算	4 ~ 6 頁
3月定例会 一般質問	10~14頁

3月定例会は、平成29年3月6日から17日まで12日間の会期で開催した。前年度より3.8%増となった平成29年度一般会計予算を中心に平成28年度補正予算のほか条例の一部改正など19議案と人事案件1件を審議し、全議案可決、同意した。

一般質問では5議員が登壇し（10～14ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成29年3月定例会議案事項	掲載頁
第1日	諸報告 町長から所信表明	3頁
	平成28年度一般会計補正予算（第5号）について 【上程】【審議】【可決】 平成28年度特別会計補正予算について （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療） 【上程】【審議】【可決】	7～9頁
第2日	平成29年度一般会計予算について 【上程】【審議保留】	4～6頁
第4日	平成29年度特別会計特別会計予算について （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療） 【上程】【審議保留】	4～6頁
	条例の一部改正について 7件 【上程】【審議保留】 辺地総合整備計画について 【上程】【審議保留】	7～8頁
第8日	西崎哲夫議員 佐出由恵議員 細井成富副議長 一般質問 河野雅俊議員 森本吉治議員	10～14頁
第12日	平成29年度神山町一般会計予算について 【審議】【可決】 平成29年度特別会計予算について （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療） 【審議】【可決】	
	条例の一部改正 7件 【審議】【可決】 辺地総合整備計画について 【審議】【可決】	
	平成28年度神山町一般会計補正予算（第6号）について 【上程】【審議】【可決】	
	人事案件（神山町監査委員の選任について） 【上程】【同意】	
	その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程】【決定】	

※第3日・第5日・第9日・第10日・第11日は議事都合、第6日・第7日は休日により休会とした。

町長からの 新年度所信表明

お詫び

建設リサイクル法にかかる案件で、工事着手前に県に通知ができていなかったことについての報道で、町民の皆様にご不信感を募らせ、深くお詫び申し上げます。今後再発防止のためコンプライアンスの徹底を指示したところであります。

29年度の当初予算

歳入歳出予算の総額は42億5300万円、前年比1億5700万円の増額。前年までは大型公共事業が続いていたが、おおむね目処がついてきた。

自主財源は28%、依存財源は72%。今後とも自主財源の確保には努力を続けていかねばならない。

地方債の残高年度末現在見込額は33億5929万円、2億907万円の増額となった。

地方創生関連事業については今後引き続き実施していく。

職員数は行政職88名、現業職15名の103名で昨年度と同数。

防災対策の充実

自然災害、特に南海トラフ巨大地震が切迫しており、神山町での防災計画の見直し充実を図る。自主防災組織率の向上、防災訓練、備蓄品の充実などハード、ソフト面で立ち向かっていきたい。

神山で全国大会が

文化庁主催の創造都市ネットワークの創造農村ワークショップ大会が夏から秋にかけて神山町で開催が決定。地域活性化や観光振興につながると期待。

簡易水道事業

簡易水道事業においては、町民の皆様にはご負担をおかけしますが、新年度より衛生で安定的な水を供給すべく、状況により水道料金の引き上げをお願いしたい。

継続して中央簡易水道の配水管工事。広野簡易水道では濾過

施設の整備工事と阿野橋架け替え工事による配水管付け替え工事を予定。

ふるさと納税

ふるさと納税については、107名の方から、1261万円のご寄付をいただきました。重要な財源として見込めることから多くの方からご寄付頂けるよう努めてまいります。

防犯灯の整備

町で管理しているもの、在所で管理している防犯灯等の正確な位置、新たに設置すべきかなどを、地元の消防団に調査を依頼。早い段階で町内の防犯灯をLED化する補助金をいただき整備する予定。

地方創生事業の推進

「まちを将来世代につなぐプロジェクト」として昨年度より地方創生関連の事業を順次本格的に進めているが、絶えず振り返りや見直し、計画の追加などを盛り込みながらスピーディーに実行していく。ハード整備事業として、フードハブ事業の「か

ま屋」と「かまパン&ストア」が3月オープン。今後は6次産業化。新規就農者の確保、耕作放棄地の解消をめざす。

若者定住関連

本年度より町産材を使い、地元の大工さんによる住宅建設を行い最終的に20戸の建設予定。今年度は2戸建て2棟を建設。また単身者向けの住宅を2棟、7戸を教員住宅跡地に建設。

免許証自主返納

高齢者の自主返納は26年2名、27年8名、28年は14名と急増。対策として町営バスの回数券1人あたり5000円の補助と、「のらんでタクシー」の助成を予定して、年齢制限を設けずに毎年実施し、自主返納を促したい。

若者よ世界に視野を広げよう

町内の中高生に夏休みを利用して、オランダに9日間の短期訪問事業を実施。海外での見聞を広げ、将来の何かのヒントにつながるならばとし、自己負担は低く抑え、参加できる制度にしたい。

平成29年度当初予算

一般会計	42億5300万円 (3.8%増)
国民健康保険特別会計	10億1113万円 (1.1%増)
簡易水道事業特別会計	2億0976万円 (7.8%増)
介護保険特別会計	10億8248万円 (1.2%増)
後期高齢者医療特別会計	1億2539万円 (3.0%増)

当初予算合計 66億8176万円

平成29年度予算の主な内容	
総務課	・ふるさと納税業務委託料 211万円 ・神山温泉基金積立金 2000万円
	・防犯灯所有者調査業務委託料 185万円 ・公共施設解体工事(上角) 870万円
	・旧鬼籠野幼稚園施設整備工事 211万円 ・元気づくり事業助成金(6団体) 223万円
	・自動車運転免許自主返納報償(10名分) 5万円 ・地方創生推進交付金事業業務委託料 8500万円
	・お試し住宅整備補助金 5000万円 ・寄井西住宅新築工事 8000万円
	・大埜地集合住宅建設工事 2億4020万円 ・防火水槽等新設工事(2ヶ所) 900万円
	・消防ポンプ積載車購入費 561万円 ・小型動力ポンプ購入費(2台) 226万円
	・名西消防組合負担金 1億3173万円 ・公債費 3億6023万円
	・町営バス運行委託料 2190万円 ・地方バス生活路線維持費補助金 120万円
	・結婚祝金(1年以上在住10件) 100万円 ・戸籍総合システム保守委託料 300万円
	・火葬委託料(140件) 455万円 ・合併処理浄化槽設置整備事業補助金(15台) 577万円
	・阿北環境整備組合負担金 1122万円 ・紙おむつ処理委託料 324万円
	・生ごみ処理委託料 213万円 ・老朽危険空家除去支援事業補助金 240万円
	・放置空家除去支援事業補助金 120万円

平成29年度予算の主な内容

税 務 保 険 課	・国民健康保険特別会計繰出金	7179万円
	・後期高齢者医療広域連合事務費負担金	583万円
	・後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金	1億2898万円
	・後期高齢者医療特別会計繰出金	6116万円
	・地籍調査業務委託料（4地区）	7700万円
	○国民健康保険特別会計	
	・国保システム改修業務委託料	325万円
	・一般被保険者療養給付費	4億6605万円
	・退職被保険者等療養給付費	600万円
	・一般被保険者高額療養費	8000万円
	・出産育児一時金（4名）	168万円
	・後期高齢者支援金	7400万円
	・介護給付金	3000万円
	・高額医療費拠出金	4033万円
	・保険財政共同安定化事業拠出金	2億5744万円
	・特定健診委託料負担金	319万円
	○後期高齢者医療特別会計	
・後期高齢者医療広域連合納付金	1億1437万円	
健 康 福 祉 課	・シルバー人材センター業務委託料	300万円
	・町内高齢者等神山温泉使用料（差額分）	511万円
	・高齢者生産活動センタートイレ改修工事	435万円
	・町社会福祉協議会補助金	1585万円
	・敬老会開催負担金	397万円
	・介護保険特別会計繰出金	1億8081万円
	・重度心身障害者等医療助成費	2556万円
	・障害者自立支援介護給付費	1億3400万円
	・地域活動支援センター事業委託料	584万円
	・高齢者等タクシー利用助成事業委託料	800万円
	・児童手当費（中学校まで316名）	4345万円
	・放課後児童クラブ運営委託料	1283万円
	・子育て支援補助金	120万円
	・救急医療対策費補助金	307万円
	・子どもはぐくみ医療助成費（高校生まで）	1236万円
	○介護保険特別会計	
	・居宅介護サービス給付費	2億3974万円
・施設介護サービス給付費	4億9534万円	
・居宅介護サービス計画給付費	2919万円	
・地域密着型介護サービス給付費	6804万円	
・高額介護サービス費	2256万円	
・特定入所者介護サービス費	5370万円	
・介護予防サービス給付費	3084万円	

平成 29 年度 予算 の 主な 内容

産 業 観 光 課	・ 農作物被害対策施設整備補助金	300万円
	・ 中山間地域等直接支払交付金（13集落）	980万円
	・ 青年就農給付金（6名）	900万円
	・ すだち冷蔵庫導入事業補助金	100万円
	・ 農山漁村未来創造事業補助金	1925万円
	・ 有害鳥獣駆除報償金	649万円
	・ 有害鳥獣捕獲狩猟免許取得等補助金	57万円
	・ 町有林搬出間伐業務委託料	840万円
	・ 町有林広葉樹植栽業務委託料	680万円
	・ 森林施業集約化支援交付金	1709万円
	・ 神山町森林整備担い手育成事業補助金	72万円
	・ 神通滝遊歩道新設設計業務委託料	108万円
	・ 農村ふれあい公園整備工事	438万円
	・ 町観光協会補助金	380万円
建 設 課	・ 鮎喰川 PR 事業補助金	100万円
	・ 4K とくしま映画祭負担金	100万円
	・ 道の駅指定管理者業務委託料	330万円
	・ 若者定住支援住宅新築等補助金	800万円
	・ 神山町空家利活用改修事業補助金	200万円
	・ 県単林道工事	500万円
	・ 阿野橋開通式事業補助金	500万円
	・ 町道維持工事	3000万円
	・ 橋りょう点検業務委託料	1500万円
	・ 道路改良舗装工事	5500万円
	・ 社会資本整備総合交付金工事	6500万円
	・ 現年発生公共土木施設災害復旧工事	6500万円
	○簡易水道事業特別会計予算	
	・ 中央配水管布設替工事	3138万円
・ 広野配水管布設替工事	2333万円	
・ 広野濾過施設建設工事設計業務委託料	2916万円	
教 育 委 員 会	・ 農村環境改善センター等指定管理者業務委託料	1422万円
	・ 通学費補助金	300万円
	・ 小中学校入学準備助成金	135万円
	・ 城西高校通学費補助金	300万円
	・ 奨学資金貸付金	924万円
	・ 若者定住応援基金積立金	170万円
	・ スクールバス委託料	2110万円
	・ 小学校火災報知施設修繕工事	103万円
	・ 中学校エアコン設置工事	254万円
	・ 中学校校舎改修工事	2250万円
	・ 教材教具実験実習材料費（小学校・中学校）	350万円
	・ 神山町国際交流プロジェクト委託料	638万円
	・ 公民館エレベーター設置工事（鬼籠野）	1100万円
	・ 給食調理・配送業務委託料	1277万円
・ 給食用自動車等購入	214万円	

平成28年度補正予算・条例一部改正等の主な内容

() は予算総額

一般会計（第5・6号）	補正額	8215万円（48億9922万円）
国民健康保険特別会計（第4号）	補正額	45万円（10億8526万円）
簡易水道事業特別会計（第4号）	補正額	△3076万円（1億6783万円）
介護保険特別会計（第4号）	補正額	△8396万円（10億3313万円）
後期高齢者医療特別会計（第4号）	補正額	△150万円（1億2114万円）
予算合計	補正額	3362万円（73億658万円）

補正予算・条例改正等の主な内容

総務課	平成28年度一般会計補正予算（第5号）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと振興基金積立金 247万円 ・徳島県自治体情報セキュリティクラウド構築負担金 338万円 ・集合住宅整備工事設計業務委託料 881万円 ・名西消防組合負担金 △450万円 	
住民課	<p>神山町個人情報保護条例及び神山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について</p> <p>職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について</p> <p>職員の育児休業等に関する条例の一部改正について</p> <p>神山町特別職の職員で非常勤のものの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について</p> <p>辺地総合整備計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺地対策事業として、町道青井夫元山線の舗装の改築を行い、地域住民の便益を図ります。 	
	平成28年度一般会計補正予算（第5号）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地方バス生活路線維持費補助金 △56万円 ・老朽危険空家除去支援事業補助金 △160万円 	

補正予算・条例改正等の主な内容

税 務 保 険 課	平成28年度一般会計補正予算（第5号）	
	・国民健康保険特別会計繰出金	45万円
	・後期高齢者医療特別会計繰出金	△155万円
	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	
	・一般被保険者療養給付費	△250万円
	・一般被保険者高額療養費	△538万円
	・前年分療養給付費負担金返納金	746万円
健 康 福 祉 課	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	
	・後期高齢者医療広域連合納付金	△150万円
	神山町税条例等の一部改正について	
健 康 福 祉 課	平成28年度一般会計補正予算（第5・6号）	
	・介護保険特別会計繰出金	△1955万円
	・子ども子育て支援システム改修業務委託料	69万円
	・未熟児養育医療費等負担金償還金	11万円
	平成28年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	
	・特定入所者介護サービス費	980万円
	・介護予防サービス給付費	△2100万円
神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等 の一部改正について		
産 業 観 光 課	平成28年度一般会計補正予算（第5号）	
	・有害鳥獣駆除報償金	△460万円
	・森林境界の明確化業務委託料	△2300万円
	・交通誘導警備業務委託料	22万円

補正予算・条例改正等の主な内容

建設課	平成28年度一般会計補正予算（第5号）	
	・簡易水道事業特別会計繰出金（事業費充当）	△978万円
	・現年林道災害復旧工事	△3000万円
	・現年発生公共土木施設災害復旧工事	△8850万円
	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	
	・広野簡易水道水源地調査計画業務委託料	△634万円
	・広野簡易水道配水管布設替工事	△2334万円
教育委員会	平成28年度一般会計補正予算（第5号）	
	・奨学資金貸付金	△312万円
	・若者定住応援基金積立金	1213万円
	・臨時助教員等賃金	△445万円
	廃校施設等使用条例の一部改正について	

議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し下さい。定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。

神山町議会事務局 TEL676-1511
(IP2002)

次の定例会は **6月中旬～下旬**です。

監査委員の選任

識見を有する者のうちから選任された監査委員の森武生氏が平成29年2月28日辞任したため、後任に次の者を選任同意した。

任期

平成29年4月1日から

平成33年3月31日

桂道弘氏 下分字黒口



監査委員に選任された桂道弘氏

平成29年 名西消防組合議会

第1回定例会は3月2日神山町役場議場で開催された。

本定例会では議案4件を審議し、原案どおり可決した。

議案第1号

名西消防組合職員の育児休暇等に関する条例の一部改正について

議案第2号

名西消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

議案第3号

名西消防組合職員の退職管理に関する条例の制定について

議案第4号

平成29年度名西消防組合一般会計当初予算について

平成29年度一般会計予算、歳入歳出それぞれ4億5691万4千円とする。

内訳

神山町負担金

1億3173万2千円

石井町負担金

3億1434万8千円

その他収入

1083万4千円

一般質問



西崎哲夫 議員

- ① 黄金すだち(熟成すだち)の出荷流通について
- ② 役場内のマイナンバー守秘対応について
- ③ 高根氷室の町史跡指定等について

質問①

イ 出荷流通の現状について
ロ 今日に至る、神山すだちブランド確立との整合性について

ハ 出荷流通について、今後の対応について

答弁(町長)

イ 議員のいう、出荷流通を全て把握はしていないが、商品化について提案はあった。マルシェを都市部で運営している社長や、通販で有機栽培の商品を販売している会社役員からである。

ロ 61年かかって、青いすだちの産地形成がされている。関係者との調整、理解が大事だと思う。

ハ 梅の私の過去の反省から、何時迄も青果(熟成すだちも

含む)の産地であってはならないと思う。青果を出荷しても出荷先が加工して付加価値を付けるといふスタイルは止めなければと思う。少くとも神山町内で加工の機運、付加価値を付けて、商品化してその分野を広げていく必要があると思う。これから10年経過してもやっぱり青果の産地だけではないかと思う。今起っている流れをどう生産者と共に考えながら対応する必要がある。すぐに青果だけの発想でとびついたら、将来梅の二の舞にならないかと懸念をしている。今大変重要な時期であると思う。放棄されている二東三文の完熟すだちが金になる。それはそれでいいことだと思うが、しかしそれだけで良いのだろうかと思われているところである。

質問②

神山町が講じている「安全管理措置」とは、またその措置の役場内での共有対応は。

答弁(総務課長)

平成28年1月より、多くの職員がマイナンバーを取り扱うことになった。関係職員については県が主催する、研修に積極的に参加させている。3月23日、特定個人情報情報の適正な取扱いについて全職員対象に研修する。

また、源泉徴収事務担当者の周知を行った。鍵の付いた保管庫で厳重に管理すること。必要がなくなつた場合は速やかに破棄すること等である。安全で適正な制度運用を行えるよう取扱マニュアルを現在作製中でそれをもとに今月職員研修を行う。特に職員の守秘対応の教育については、事件等が起る前提でどの様に共有していくかが重要だと

思うので職員の理解を得ながら進めていく。

質問③

イ 元「山一五の会」等によって、修復、復元、歩道の整備(平成4年)されて以来の現地の維持管理の対応について
ロ 神山町の史跡指定について
ハ 氷室の観光活用について。

答弁(町長)

記念碑等も「山一五の会」で設置はしたが氷室に至る歩道も台風等で痛みがあり通行がしにくく、説明看板も老朽等の状況下にある。当時の柵の復元や歩道の整備等安全管理はしっかりしていかなければと思う。観光活用については、神山の氷室が現存する唯一のものである。高知県で現存しないのに観光活用されていることもあり、本町もぜひ活用したい。

答弁(教育長)

本町の史跡は現在5件指定されている。町指定の史跡に指定するためには、場所の特定、所有者の承諾、管理者の選定が必要であり、要件を満たし、所有者からの申し出があれば、神山町文化財保護審議会に諮りたいと思う。

一般質問



佐出由恵 議員

① 農地売買の要件緩和について ② 神山温泉の経営診断について

質問①

神山町に限らず山間地では谷の水を生活用水として利用しているが、上流部で農地が買われ取水されると生活が維持出来なくなる事が危惧される。協議会の場では、徳島県条例で規制されているので心配無いとの回答だったが、どの様な条例かまた、安易に購入した後町外へ転出した場合、かえって耕作放棄地が増える可能性が有るが、安易な購入を規制する対策を講じているのか。

答弁（町長）

森林法の改正により森林を取得した場合は事後、届出義務が出来たといった流れで現状を言った。神山町の農業振興地域の管理促進協議会で審議し承認



農地の風景

された上で、農業委員会にかけられるので、水源地の農地が乱開発される心配は無いと思う。

答弁（産業観光課長）

農地法3条では加減面積の要件が必要となり、土地利用計画書や住民票の添付を義務付けている。農地法第5条の申請についても、転用目的を明確にし指定から除外が完了してからの申請となり、事業計画書やその経費、資金証明の提出を義務付けていて、農業委員会を経て県知事に意見書を添付する手続きを

とっている。

再問

耕作放棄地の増加により有害鳥獣の被害や、有害鳥獣に寄生するマダニによる感染症は生命に危険が及ぶ深刻な状況になっている。今回の規制緩和が当初の目的どおり耕作放棄地の活用や、農業の活性化につながるように望む。

質問②

昨年末に、神山温泉の経営診断について新聞報道されてより、町内外の皆様が経営状況が悪化しているとの誤解とご心配をおかけした。繰越明許費として、繰越す事が議会で承認されているが、現在どのような状況にあるのか。

答弁（町長）

神山温泉を非常に大事な施設であるとの考えの上での経営診断であったが、相談を持ちかけたコンサルに法手続きに不備が

あり、町としても調査が出来ていなかったことについては、皆様にお詫びを申し上げます。年度末という事もあり契約には至っていない。コンサルタントを探している途中である。



神山温泉

再問

カーデイナーリス(有)やつなぐ公社理事から登記の不備についての説明を受けたのか。

答弁（町長）

カーデイナーリス、理事から登記の更新を失念していて申し訳なかったとのことであった。

再問

責任の所在を明確にすべきと思うが、誰が責任を取るべきかあるいは、その必要はないと考えているのか。

答弁（町長）

契約を結ぶ以前で相談のレベルであり、責任を取るという段階では無かったと思う。

一般質問



細井成富 議員

①普通自動車の車庫証明について ②小水力発電について

2500円の補助として還元できないか。

答弁（町長）

今のところ県下には補助で対応しているところはないと思う。

答弁（税務保険課長）

近隣の市町村はどこも補助はしていないと思う自治体をあげて国に要望出来ればいいと思っている。

再問

県下ではどこもしていないけれども町独自でもいいのではな

再問

1点目 地球温暖化防止への賛
同と取組み

2点目 小水力発電設置の可能性

3点目 地産電力の公共施設で

の利用

答弁（町長）

地球温暖化防止の考えの元、

過去に於い

て木質バイ

オマスにつ

いて資源量

の調査をし

たが当時の

先進地でも

厳しい状況

であった。

小水力につ

いても効果

は少なかった。

小水力に

ついては民

間企業から

の提案で神

通谷川や野



小水力発電装置（神領字石堂）

間谷川で調査をしたが、水利権や地形環境等をクリア出来るか課題がある。
公共施設での電気代の節約に太陽光を利用している。
避難所の電源確保にも有効であると考えている。

一般質問



河野雅俊 議員

質問①

神山つなぐ公社が「まちを将来世代につなぐプロジェクト2016」を策定されている。具体的な施策項目のなかでも、城西高校神山分校との連携として、民家改修プロジェクト（空き家周辺の雑木を伐採した環境整備）、フードハブプロジェクト（加工品開発など6次産業化に向けた取り組み）、ドングリプロジェクト（ドングリを拾い種類ごとに温室で播種、苗木に成長したら集合住宅の植栽工事を行う）などに取り組んでいる。なかでも、高齢化率が50%近い神山町では、一人暮らしの高齢者も増加し、家周りの生け垣や庭木の剪定、畑や急斜面の草刈り作業に困っている。そこで、孫の手プロジェクトとし

町職員採用について

て、生徒がお年寄りのお宅に訪問し、困りごとを有償で解決する教育実践プログラムに取り組んでいる。このプロジェクトでは、地域との関係性を築くことを大切に、休憩時間にお年寄りとの会話によりお互いを身近に感じ、生徒が手応えや自信をもち、自分で考えて行動することが求められる。その経験を積んだうえに、依頼者に感謝されることで成長する姿が見取れる。

町内唯一の高校ということもあり、これからも地域との密接な関係を築いていくことと思う。将来、意欲ある生徒を町職員に採用してはどうか町の考えは。

答弁（町長）

かつては城西高校神山分校の生徒さんの町内、町外の比率ということについては町内のご子息、子女が通う学校でありましたけど、農業林業の衰退の流れ

の中、町外の高校への進学ということもあり、段々と町内の生徒が減ってきた状況にあると「まちを将来世代につなぐプロジェクト」のなかにもうたわれれておりますが、何もしなければ成り行きの未来ということでは城西高校神山分校ももしかすると数年後には廃校の可能性もあり、そうすると徳島バスの神山線も廃止撤退という流れになるかもしれない。そういったなかで、孫の手プロジェクトであり、民家改修プロジェクトであり、様々な分野に高校生を力をお借りして町民と顔の見える関係性を構築していくことを考えながらやっているということでもあります。



孫の手プロジェクト



フードハブプロジェクト

特にフードハブプロジェクトについても、農業振興の一貫のなかで高校生の6次産業化ということも考えながら、実習の場・体験の場と自分達で作った物を加工したり商品化したり展開して、それが自信に繋がりあるいは将来の仕事に繋がる。農業だけでなく、起業ということも手にすることが可能になると思います。そういったことで、意欲のある生徒が増えるならば、神山町職員の採用の道も開けてくると思います。窓口は閉ざすのではなく大きく広げておきましょうというのが町の考えであります。

一般質問



森本吉治 議員

質問①

町内の65歳以上の割合が50%になろうかとしている。そのうち多くの世帯が単身、また夫婦二人きりで暮らしているのが現状である。地域力も衰え、10年前であれば近所のお世話になり家で葬儀が執り行われていたが、近頃はほとんど町外の葬祭場で行われるようになったが経費面では昔に比べると倍以上の出費が必要となった。町内の休校校舎の一部を葬祭場として活用し、出来るだけ安く葬儀を終えられることに貢献できればと考えるが。

地域には母子福祉会が所有している高額祭壇等が眠っている

葬祭費用の軽減をへ空き校舎の利活用

のでそれを活用することもできるのだが。

答弁（町長）

私の感覚では90%ぐらいが町外の葬祭場で行なわれているように思う。故人、家族にとっても自宅から出棺できるのが、本来望ましいのではないか。しかし、休校校舎を葬式等の式場に活用した場合、地元の理解が得られるかどうか。理解が得られても実際に、実現できるかと考えた場合、すでに葬祭業者のサービスを受けることに慣れておるのでいかなものかと。霊柩車もすでに廃止しており運行が出来なくなっている。

再問

霊柩車などは町外の業者で対応できるし、地元で葬儀をした場合にはお六日の法要も町内の

料理屋さんを使っていただけ。火葬場までの送迎も地元タクシー業者を使っていただけ、お金の地域内循環の効果も期待

できるのだが。

一番は高齢者がふえてくるおり、葬祭費用の負担を軽く出来ればと思うところである。

答弁（町長）

地元の理解が得られても、現実には難しい点があるのではないかと、今の時点ではそう考えている。



自宅での葬儀の様子

町村議会議員研修会

平成28年度第29回勝名地区町村議会議員研修会が、平成29年3月1日（水）午後1時30分より勝浦町住民福祉センターで行われた。

始めに勝名地区議会議長会会長の勝浦町議会議長国清一治氏があいさつを行い、次いで開催町である勝浦町長中田丑五郎氏が歓迎のあいさつをおこなった。

その後、講演に移り、講師として徳島県政策創造部地方創生局長の延良朗氏が「地方創生の現状と今後について」と題し、主に今日の町村の政治、経済、行政のインバウンドについての公演をしていただき、大変有意義で私達の為になるお話しでした。研修会参加者数は勝浦町12名、佐那河内村9名、神山町10名、上勝町9名、石井町12名の全員で52名でした。



勝名地区議会議員研修会

その後、町営バスで人形文化交流館へ移動して30分余り「第29回ビッグひな祭り」の見学をした。

次いで午後五時より交流会が祥雲閣で開催され、国清一治会長のあいさつ、乾杯で始まり2時間余りでしたが、見識や交流を深めた。最後に仁羽悟郎副会長の万歳三唱で交流会を締めくくった。

（新居榮二）

神山町内視察に

議員全員で参加

2月11日

神領字石堂、阿部正さん宅の小水力発電を見学した。

当日は、阿南高専の鶴羽正幸先生から代替エネルギーについて説明をして頂いた。

水の力で電気を起こし、発電

出来れば、石油、石炭、原子力発電もいらないクリーンなエネルギーが作れる。

小水力発電は、高低差100mあれば水圧も強くなり、フィンを力強く回せて、発電できる。発電後は、

その水であめこの養殖、また、水田の稲作に利用している。発電した電気は道路の街路灯に使ったり、川の水をポンプアップして、養殖池にくみ上げたり、採卵場の電灯として、利用している。



小水力発電施設を視察

鶴羽先生はミャンマーで小水力発電を設置しているが、まだ田舎の方では、電気のない所が、たくさんあるそうだ。先進地の視察で勉強することも考えている。（高橋和男）

神山の風景

神山町の文化財

阿野字代次地区中心の泉のそばに石風呂がある。昔阿波藩の姫君が病気をいやすため多田家に逗留しこの風呂を利用したといわれる。

中に入ると、大人3人ぐらいが横になれる広さがあり、この石風呂の中で火を燃やして熱くしぬれむしろなどを敷いて、石の熱気と湯気に浴する蒸し風呂で今のサウナ風呂のようなものである。昭和48年11月町指定文化財に指定された。

(森本吉治)



議会の動き

4月

5日 議会広報委員会

6日 交通安全街頭キャンペーン

10日 神山中学校入学式

11日 神領小学校・広野小学校入学式

12日 勝名地区町村議会議長会臨時総会

14日 徳島県町村議会議長会役員会及び県議会・市議会議長会・町村議会議長会連絡調整会議定例会

18日 議会広報委員会

19日 勝名地区町村監査委員連絡協議会臨時総会

5月

17日 勝名地区町村監査委員連絡協議会視察研修

31日 6月1日 町村議会議長・副議長研修会

6月

7日 戦没者追悼式

中旬 議会運営委員会

中旬 下旬 6月定例会

28日 徳島県町村議会議長会臨時総会

編集後記

この編集後記を書いている3月下旬、例年なら「神山しだれ桜」も3分咲きになってもおかしくない時期であるはずなのに、まだ一輪も咲いていない。満開になるのが待ちどおしい季節である。

昨年のお花見シーズンは多くの花見客で国道が渋滞し迷惑をかけたことが思い出される。渋滞ピーク時には、鬼籠野国道信号から道の駅まで40分もかかったそうだ。今年には県道や国道沿いに渋滞予想の事前看板や花見客用の駐車場の案内があり、少しは渋滞緩和が期待できそうだ。他県ではなかなか見ることの出来ない、しだれ桜の花街道を堪能してもらえればと胸を弾ませる。これから数ヶ月は神山の花便りが新聞紙面を飾るだろう。

(森本吉治)